

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



奈良県高取町
が応援するふるさと名物

薬業製品と吉野材を活用した商品
群

- 製薬
- 吉野材
- 杉材
- 桧材





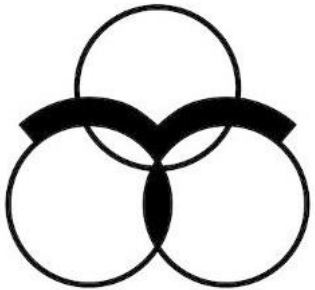
奈良県高取町

地域の プロフィール

◆高取町について

奈良盆地の東南部に位置する面積25.79km²の町です。東南には高取山がそびえたち、南は芦原峠、船倉弁天山の連峰をもって吉野郡大淀町に、西は曾我川を境に御所市に、北は貝吹山を境に橿原市、明日香村に接しています。世帯数は2,877戸、人口は男3,217人、女3,622人、合計6,839人（平成30年9月1日現在）。

古くは『日本書紀』において、推古天皇が宮廷行事の薬獵(くすりがり)を行った地であると記されており、製薬・卸業売薬を代表的な産業として発展してきました。



1

主な地域資源

◆製薬

高取町と薬との関わりは古く、612年に推古天皇が薬狩りを行ったと伝えられます。江戸時代になると高取藩主植村氏が参勤交代の折に高取の薬を全国の藩主へ贈ったこと、また、大和の薬売りによる配置薬販売が盛んになったことにより、くすりのまち高取は全国に知られていきました。大正期には、高取薬業会も設立され、県の重要産業に指定された製薬業や配置薬販売業が成長を遂げました。

2

ふるさと名物

◆「くすりのまち高取町」の薬業製品

町内には多数の製薬業者があり、医薬品・漢方薬から絆創膏など、健康を幅広く支える薬業製品の開発や製造を行っています。また近年、高取町では“薬の町高取復活プロジェクト”として大和トウキを使用した入浴剤やお茶、煎餅等の商品を開発しています。

「くすりのまち高取」のさらなる発展のため、薬業製品を応援します。



1

主な地域資源

◆吉野材(杉材・桧材)

奈良県吉野郡で育林された杉・檜を用いる吉野材は、光沢の良さや節が少なく、年輪幅が均一で細かいといった特徴を持つ国産材のブランドの一つです。その歴史は古く、室町時代に植林が行われ、現代まで受け継いできた日本で最古の人工林として、吉野杉は日本三大美林の一つにも数えられています。

2

ふるさと名物

◆吉野材(杉材・桧材)を活用した商品群

吉野材はその品質から建材のほかにも、椅子や机といった家具から桶や一輪挿しといった様々な商品が開発されています。高取町では、吉野材を活用した商品群を応援します。



◆高取町の取り組み

1

サポート

◆情報提供

合同企業説明会や事業継承に関する相談窓口など、次世代へ繋いでいくためのサポートをしていきます。

◆販売促進

見本市や展覧会、イベントなどの開催情報の提供から、ふるさと納税の返礼品等、販路拡大やふるさと名物の販売促進に向けたサポートをします。

2

広報

◆情報発信

広報やホームページはもとより、各種メディア媒体(新聞・雑誌・テレビ)、イベント活動でのPRなど、あらゆる機会をとらえてふるさと名物をPRしていきます。